

種目名	社会（歴史的分野）	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	東京書籍
-----	-----------	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	教育出版	清水書院	帝国書院	日本文教
1 学習指導要領との関連		中学校社会科で習得すべき知識や概念を十分に盛り込んでいる。領土をめぐる問題や環境問題など、自国や国際社会が抱える課題について歴史的背景を取り上げながら、解決のためにできることが考えられるよう配慮されている。	文化史や人物学習を充実させ先人の名言や地球の歴史を紹介しながら、歴史への関心を高めるような構成になっている。また、環境保全への取り組みの歴史的背景についても理解が深められ、今日的な課題として取り上げられている。	世界史的な背景をもとに、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色を理解できるよう意図して編集されている。人物伝や神話など我が国の伝統や文化の特色などを多角的に提示し歴史に対する愛情や国民としての自覚を育成できるよう配慮されている。	各時代の特色を捉えて日本の歴史の流れが効果的に学習できるよう編集されている。人々の生活や文化を重視し、時代ごとの人々の姿や歴史的・文化的背景の理解が深められるよう配慮されている。	歴史について学ぶ楽しさを伝え、基礎的・基本的な知識を表現する学習を重視した編集がされている。また、今日的課題についても学習できるよう配慮されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		「私たち歴史探検隊」として地域の歴史を調べる方法等が紹介されている。地域の成り立ちや文化について自ら調べ、理解することに役立つと考えられる。	特設ページの「郷土の歴史を探ろう」「資料から郷土の歴史を探ろう」では、歴史を追求する活動のためのヒントが紹介されている。幅広い知識を紹介するためには良い。	学習したことをもとに自ら歴史を掘り下げられるような話題が用意されている。また、根拠を明確にして自分の考え・意見をまとめられるように工夫されている。	歴史を理解し、より良い未来を作るための話題が羅針盤マーク付のコラムで記述されている。知識的なことは豊富に紹介されている。	「でかけよう！地域調べ」として地域の歴史を調べる方法などが紹介されている。「+α」では現代とのつながりが理解できるものがあり、現在や将来を考えるのに役立つ。
3 内容等	(1) 内容の選択	資料、地図などを3分野共通で掲載し、それぞれの分野の内容を相互に関連づけながら、多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。	日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられている。各時代のそれぞれの出来事に関わる地域を地図で確認し、現代社会の課題と自分とのかかわりを考える学習課題が設定されている。	各章のまとめは、単に記憶した知識を復習するだけでなく、生徒自らが作業を行って理解を深め、的確な判断力や豊かな表現力を養うことができるよう配慮されている。	歴史を東アジアとの関係や日本の各地域の動きなどを様々な側面からとらえられるよう内容を精選している。各時代の特色、日本の歴史の大きな流れを理解することができる。	今日的課題の歴史的背景を詳しく解説している。先人の姿を取り上げどのように取り組んだのかを自らの生き方に関連付けながら学べるようになっている。各時代の導入部分では小学校の歴史や地理の学習との連携を重視している。

(2) 内容の程度	<p>東京書籍</p> <p>小学校で学んだ42人の人物を取り上げた人物コラムを活用することで、人物を手掛かりにした発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>教育出版</p> <p>近現代史に重点が置かれて生徒が、近現代史をじっくり追求しながら学習が進められるよう配慮されている。</p>	<p>清水書院</p> <p>歴史的事象の説明が丁寧にされている。資料や図の解説は一部難しい表現や語句が使われている。</p>	<p>帝国書院</p> <p>分かりやすい文章で記述されている。文化のページでは、資料を、大きく提示し、興味・関心がもてるよう配慮されている。</p>	<p>日本文教</p> <p>学習の確認と活用を設けて、学習のポイントの確実な定着を促し、学習活動や、自分の考えを説明する工夫がされている。十分な文字量を確保している。</p>
(3) 内容の構成	<p>平易な表現を使用して、一読して理解できるよう工夫されている。文字の量も適切である。章末には、多様な表現活動によって各時代の特色をとらえられる工夫がされている。</p>	<p>近現代史により重点を置いた構成である。世界の動き・日本の動きの順で内容を配列し時代背景を押さえながら、日本の歴史について学習を進められるように配慮されている。</p>	<p>全編を通じて丁寧に表現がされている。読み物としても十分な内容である。同じ時代の他国(特にアジア)とのつながりを重視して、その関係を系統的に表現されている。</p>	<p>各部の始めにイラスト「タイムトラベル」をながめて前の時代との比較をしたり、疑問点を発見したりして、時代全体のイメージを膨らませることができる。</p>	<p>各時代の導入で年表が扱えるようになっている。その中で小学校の歴史学習で学んだ人物・文化遺産などを再確認できるようになっている。時代の転換や特色について考え、まとめる学習が用意されている。</p>
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>地名・人名などの用語などには見開きごとにルビが付けられており、読みのつまずきを軽減する工夫がされている。</p>	<p>漢字や仮名遣いは適切で、資料中にもルビがつけられている。本文の文字サイズをひと回り大きくし見やすい工夫がされている。</p>	<p>漢字や仮名遣いは適切で、資料中にもルビがつけられている。資料と本文とを色分することで本文が読みやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>漢字や仮名遣いは適切である。イラスト・地図・グラフなどの資料が効果的に配置されている。</p>	<p>漢字や仮名遣いは適切で、ルビもつけられ、分かりやすい表記になっている。各ページに用語解説をつけ、読みの深まりが図れるよう工夫されている。</p>
5 印刷・造本等	<p>色彩は鮮明である。使用している文字の大きさや書体は適切である。造本は堅ろうで長期間の使用にも十分耐えることができる。</p>	<p>文字や図版などは鮮明である。3年間の使用を考えた氏名欄が設けてある。複数年の使用に耐えうる造本である。</p>	<p>資料等にカラーバリアフリーを意識した模様を入れるなど工夫されている。表面は防水加工が施され、造本も堅ろうである。</p>	<p>資料は鮮明で、見やすくなっている。堅ろうなつくりになっている。氏名欄は3年分設けてある。</p>	<p>刷印は鮮明で、文字の大きさも適切である。造本は堅ろうである。</p>

発行者 観 点		自由社	育鵬社	学び舎
		1 学習指導要領との関連	歴史の大きな流れを理解させるだけでなく、それぞれの時代で祖先が直面した問題を知ること、生徒が自らの生き方に関連づけて考えることができるよう配慮されている。日本の歴史舞台を3つに分け系統的に学べるよう配慮されている。	基礎的・基本的知識、概念や技能の習得を図るために、具体的な資料の読み取りや言語活動の充実を図ることができるよう配慮されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	コラムが充実しており、伝統・文化・郷土を愛する心情が培われるよう配慮されている。生徒が自分の言葉で日本の歴史を語れるようになることを目指している。	郷土を愛する態度を養うため偉人の足跡や文化遺産を数多く紹介している。地域調査や調べ学習など、自ら取り組む課題が示してある。	「歴史を体験する」で、史実を具体的に学ばせようと工夫している。自ら学ぶ態度を養う上で役に立つと思われる。	
3 内容等	(1) 内容の選択	歴史的事実だけではなく、時代背景や人々の生き方、考え方にふれながら、深く学習ができるよう内容が精選されている。	歴史的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が明確におさえられている。多彩なコラムが生徒の思考力や表現力を育むよう適切に設けられている。	歴史的分野に必要な基礎的・基本的な事項に加えて、具体的な事象をもとに、時代の理解を深めさせるように工夫されている。
	(2) 内容の程度	読みやすく、分かりやすい文章で記述されている。コラムは生徒が興味をもつことができるような工夫がされている。	生徒の歴史学習への興味、関心、意欲を高めるような題材の工夫がされている。全体的に読みやすい記述がされている。	読みやすく、分かりやすい文章で記述されている。

	(3) 内容の構成	<p><u>自由社</u> 小学校で学んだ学習の確認が少ない。配列は大まかな流れをつかめるよう配慮されている。</p>	<p><u>育鵬社</u> つかむ・調べる・まとめるための資料がバランスよく配列されている。1時間で資料を効果的に活用して、問題解決できるような課題設定となるよう配慮されている。</p>	<p><u>学び舎</u> 第1章では、タイトルの下の学習課題が記載されているが、第2章以降も学習課題が記載されているとよい。</p>
4 表記・表現及び使用上の便宜等	漢字や仮名遣いは適切で、資料中にもルビがつけられている。歴史的な重要事項については、もっと多くの表示がほしい。	漢字や仮名遣いは適切である。資料中にも、ルビがつけられている。資料やイラストは大きく、わかりやすい。難易度の高い用語や語句が一部見られる。	漢字や仮名遣いは適切で、資料中にもルビがつけられている。本文に、通史的な文章とコラム的な文章が記載されている。	
5 印刷・造本等	良質の紙を使用している。使用している文字の大きさや書体は適切である。造本は堅ろうで長期間の使用にも十分耐えることができる。	文字・図版などの印刷は鮮明で、色彩も豊かである。複数年に耐える堅ろうな造本である。	大判でページ数が多い。資料が大きく、見やすい。文字・図版などの印刷は鮮明で、色彩も豊かである。複数年に耐える堅ろうな造本である。	